

整理番号

発送番号 149358

発送日 平成 17 年 4 月 26 日

拒絶理由通知書

特許出願の番号	特願 2000-609997
起案日	平成 17 年 4 月 20 日
特許庁審査官	蔵野 雅昭 8721 5D00
特許出願人代理人	作田 康夫 様
適用条文	第 29 条第 1 項、第 29 条第 2 項、第 29 条の 2、第 36 条、第 37 条

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から 60 日以内に意見書を提出して下さい。

理 由

1. この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内において頒布された下記の特許出願の願書に最初に添付された明細書又は図面に記載された発明と同一であり、しかも、この出願の発明者がその出願前の特許出願に係る上記の発明をした者と同一ではなく、またこの出願の時に、その出願人が上記特許出願の出願人と同一でもないもので、特許法第 29 条の 2 の規定により、特許を受けることができない。
2. この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内において頒布された下記の特許出願の願書に最初に添付された明細書又は図面に記載された発明と同一であり、しかも、この出願の発明者がその出願前の特許出願に係る上記の発明をした者と同一ではなく、またこの出願の時に、その出願人が上記特許出願の出願人と同一でもないもので、特許法第 29 条の 2 の規定により、特許を受けることができない。
3. この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内において頒布された下記の特許出願の願書に最初に添付された明細書又は図面に記載された発明と同一であり、しかも、この出願の発明者がその出願前の特許出願に係る上記の発明をした者と同一ではなく、またこの出願の時に、その出願人が上記特許出願の出願人と同一でもないもので、特許法第 29 条の 2 の規定により、特許を受けることができない。
4. この出願は、明細書及び図面の記載が下記の点で、特許法第 36 条第 4 項及び第 6 項第 2 号に規定する要件を満たしていない。
5. この出願は、下記の点で特許法第 37 条に規定する要件を満たしていない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

理由 1 について

- ・請求項 11-13 に対して引用文献 1

引用文献 1 の特許請求の範囲等の記載を参照。

なお、請求項 11 には単に「(110) 配向を含む配向制御膜」と記載されているため、これだけでは多様な解釈が可能であり、例えば配向制御膜が bcc 型であり (110) 面を基板面に垂直に配向したものも含まれることになる。

理由 2 について

- ・請求項 11-13 に対して引用文献 1

理由 1 を参照。

・請求項 1 4 に対して引用文献 1、2

引用文献 2 には下地層を 2 層とする点が記載されている。

引用文献 1 と 2 を単に組み合わせる程度のことは容易に想到しうると認められる。

・請求項 1 - 2 1 に対して引用文献 3

請求項 1 に記載の発明のうち、配向制御膜が L 1 0 型で (1 0 1) 面が基板と平行に配向しておりかつ下地膜が b c c 構造で (2 1 1) 面が基板と平行に配向しておりかつ磁性膜の c 軸が基板と平行に配向しているものについては先行技術文献を発見していないが、現時点ではこの点を満足しないものが請求項 1 に係る発明には包含されている点に注意されたい。

他の請求項についても同様。

理由 3 について

・請求項 6 - 8 に対して引用文献 4、5

引用文献 4 の請求項 6、7、

引用文献 5 の特許請求の範囲、段落【0 0 0 5】、等の記載を参照。

理由 4 について

(1)

本願発明はいずれも、配向制御膜、下地膜、磁性膜各々が特定の結晶型を有するとともに特定の面 (c 軸) を特定の方向に配向していることに特徴があると認められるがそれらの点が各請求項に記載されていない。したがって、各請求項に係る発明にはこれらの特徴を満足しないものも包含されている。そのようなものについては所定の効果を奏するように開示がされていないので、開示が不十分であると認める。

(2)

第 9 頁には「図 9 に X 線回折で、C o C r P t 磁性膜の・・・」と記載されているが、実施例 1 とどういう関係にあるのか。

(3)

第 1 1 頁には「さらに、L 1 0 型の結晶構造を有する材料・・・N i Z n」と記載されているが、N i Z n は b c c 構造である。(下記引用文献 3 の第 4 頁等参照)

(4)

第 1 6 頁には「図 1 0 に・・・比較例 2 0」と記載されているが、比較例 2 0 が

ない。

第 2 3 頁の「比較例 4 0」も同様。

(5)

第 2 0 頁には実施例 3 において C 保護層の厚さを 5 0 n m とした旨記載されているが、なぜか。(他の実施例では 5 n m)

理由 5 について

請求項 1、2 に係る発明と、それ以外の請求項に係る発明とは、各請求項の記載事項から判断して、明らかに「同一の特別な技術的特徴」を有していない。

この出願は特許法第 3 7 条の規定に違反しているので、請求項 1、2 以外の請求項に係る発明については同法第 3 7 条以外の要件についての審査を行っていない。なお、現時点で発見している拒絶理由については通知することとした。

引 用 文 献 等 一 覧

1. 特開平 6 - 9 6 4 3 1 号公報

2. 特開平9-16937号公報
3. 特開平9-259418号公報
4. 特願平10-224297号 (特開2000-57552号公報)
5. 特願平9-342891号 (特開平11-175947号公報)

先行技術文献調査結果の記録

- ・調査した分野 IPC第7版 G11B 5/62
DB名

- ・先行技術文献

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。

この拒絶理由通知書中で指摘した請求項以外の請求項に係る発明については、現時点では、拒絶の理由を発見しない。拒絶の理由が新たに発見された場合には拒絶の理由が通知される。

この拒絶理由の内容に関して問い合わせがある場合は下記まで連絡されたい。

特許審査第4部情報記録 TEL. 03(3581)1101 EX. 3551



Reference No.

Dispatch No. 149358

Date of Dispatch: April 26, 2005

Notification of Reasons for Refusal

Patent Application No.:	JP2000-609997
Date of Draft:	April 20, 2005
Examiner of JPO	Masaaki Kurano 8721 5DOD
Agent, Patent Attorney:	Mr. Yasuo Sakuta
Applied Articles:	Article 29(1), (2), -2
	Article 36 and Article 37

This patent application should be rejected in view of the following reasons. If the applicant has a certain opinion about this refusal, it is requested to submit a written response with the JPO within 60 days from the date of dispatch of this notification.

Reasons

1. The invention concerning the following claims of this patent application cannot be granted for patent under a provision of No. 3, Item No. 1 of Article 29 of the Patent Law because it is an invention described in the following publications distributed in Japan before filing its application.

2. The invention concerning the following claims of this patent application cannot be granted for patent under a provision of Item No. 2 of Article 29 of the Patent Law because those skilled in the art to which the present invention pertains before filing the application could easily invent it on the basis of the invention described in the following publication 1 distributed in Japan before filing the application.

3. The invention concerning the following claims of this patent application cannot be granted for patent under a provision of Item No. 2 of Article 29 of the Patent Law because it is the same as the invention described in either the specification or the drawings originally attached to a written petition of the following patent application before the date of its filing application and laid open after the filing, the inventor of this patent application is not the same person as those invented the aforesaid invention concerning the patent application before filing its patent application and the applicant at the time of filing this patent application is not the same applicant as those of the aforesaid patent application.

Note

(As to the cited documents, refer to the list of the cited documents)

As to the reason 1:

- Cited document 1 in regard to claims 11-13:

Refer to the description of claims in the cited document 1.

Since claim 11 has a mere description of "an orientation control film including a (110) orientation, a versatile interpretation for it can be attained under this mere description. For example, it also becomes to include an orientation that the orientation control film is of bcc type and the plane (110) is oriented in perpendicular to a substrate plane.

As to the reason 2

- The cited document 1 in regard to claims 11 - 13.

Refer to the reason 1.

- The cited documents 1 and 2 in regard to claim 14

In the cited document 2 is described a feature that a under layer is composed of two layers.

It is deemed that a mere combination of the cited documents 1 and 2 could easily be attained.

- The cited document 3 in regard to claims 1-2.

As to the invention described in claim 1 in which the orientation control film is of L10 type, a plane (101) is orientated in parallel with the substrate, an under layer has

a bcc structure, and an axis c of the magnetic film is orientated in parallel with the substrate, the prior art reference was not found. However, at the present time, please note that an item not satisfying this point is included in the invention in claim 1.

Similar situation is applied to other claims.

As to the reason 3:

- Cited documents 4 and 5 in regard to claims 6-8.

Refer to the descriptions of claims 6 and 7 in the cited document 4, and claims and the paragraph [0005] in the cited document 5 or the like.

List of the Cited documents

1. Gazette of Japanese Patent Laid-Open No. 96431/1994
2. Gazette of Japanese Patent Laid-Open No. 16937/1997
3. Gazette of Japanese Patent Laid-Open No. 259418/1997
4. Gazette of Japanese Patent Application No. 224297/1998
(Gazette of Japanese Patent Laid-Open No. 57552/2000)
5. Gazette of Japanese Patent Laid-Open No. 342891/1997
(Gazette of Japanese Patent Laid-Open No. 175947/1999)